



行政書士 MAP

福岡県行政書士会

広報部発行

第9回：「失敗するけど失敗しない」行政書士

行政書士は扱う業務が幅広い仕事。そのため一人ひとりの得意分野や仕事の流儀、人生の背景も実に多様です。この「行政書士 MAP」では、福岡県行政書士会の会員の中から、話題の行政書士やさまざまな活動を行う行政書士をご紹介します。

第9回は、博多公証役場のいちばん近くに事務所を構える『あんくる行政書士法人塚本ゆかり会員』を訪ねました。

広報部(以下「広」)：本日はご多忙の中取材に応じていただきありがとうございます。まず、「あんくる行政書士法人」という事務所名の由来からお聞きできますか？

塚本会員(以下、「塚」)：「安心が来る」から「あんくる」です。令和3年7月9日に法人化するときに「塚本行政書士事務所」から名前を変えました。どんな事務所名がいいか、みんなで案を出し合いました。「みらい」「まちかど」なんて案もあったのですが、一人のスタッフが「あんくる」はどうですかと言ってきて、「それいいね！」って。

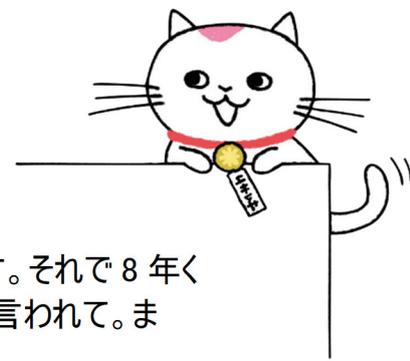
広：親しみやすく、覚えやすく、素敵なお名前ですね。以前は別のお仕事をされていたとのことですが、行政書士に転職なさったのはどうしてですか？

塚：元々は病院の臨床検査技師をしていたのですが、結婚相手が年上だったんです。28歳の年の差婚ですから将来介護が必要になるかもしれない、それだったら自営の仕事をしておいたほうがいいんじゃないか、って思ったのが直接のきっかけでしたね。

病院勤めをしながらの勉強で、途中で妊娠をして試験直前は産休に入っていました。大きなお腹で試験を受けて、合格発表の直前に娘が生まれました。ですから、その年の福岡県行政書士会の入会式のときは赤ちゃんを連れて出席したんですよ。「入会式に子連れで来る人は初めてだ」って驚かれました(笑)。

最初は、保険屋さんの紹介で、先輩の行政書士事務所で開業させていただきました。弁護士だとイソ弁、軒弁ってあるでしょう、あんな形で居候行政書士です。





子どもが小さいうちは、仕事より子育てを楽しむ比率が高かったです。それで8年くらいお世話になって、独立しました。「そろそろ独立したら？」って先輩に言われて。まあ、追い出されたんです(笑)。

広: 行政書士としての初仕事は覚えていらっしゃいますか？

塚: 法人設立でした。夫の知人の方の紹介で、株式会社の立ち上げに携わりました。

広: その後、ここまで事務所を大きくされたのですね。最初に雇い入れたのは、何を担当される方でしたか？

塚: 最初に入れたのは経理担当スタッフでした。自分で経理をするとどうしても甘くなるから人に担当してもらうことにして。うちは女性ばかり、今はスタッフが7人です。ちょうど今産休・育休に入っている人もいます。産休のタイミングが重なってしまって、人手が不足することもありましたが、お互いさまというか、チームで頑張ってもらえばいいかなと思っています。

遅くまで働くのはダメ、って決めていて、定時の18時を過ぎて残業していると私に怒られるのでスタッフも必死です(笑)。

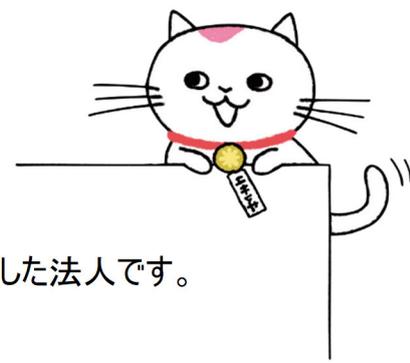
広: 事務所運営の中で、いちばん大変だった時期はいつですか？

塚: 令和3年かもしれないですね。法人化した年でもありますが、夫ががんになって手術をすることも重なりました。まだコロナ渦だったので、発熱するだけでも大変で。入院も多くて、病院にもよく呼ばれていました。昨年春に今の施設に落ち着くまでは、仕事と夫の介護の両立に忙しかったですね。

広: 目が回るような忙しさだったのではないかと思います。
あんくる行政書士法人のほかにも、塚本会員のところには別の法人もありますね。。

塚: 企業の経営のサポートをする会社が「経営よくする株式会社」です。行政書士業務でお客様の建設業の許可を取りますが、その会社が売上を伸ばせるかどうかはそこからです。正直、決算書を見ていると心配になるような会社もあります。経営者のお尻を叩いてサポートしてあげたい、と思ってしまうものの、行政書士の立場で、経営のアドバイスやコンサルティングをするのは気が引けてしまって。そのため別会社を立ち上げました。





「一般社団法人 ココカラヤ」の方は、カラヤ、空き家対策を目的とした法人です。老人ホーム探しのお手伝いもしています。

あんくる行政書士法人の経営理念は「人の役にたち 喜ばれ 感謝される仕事をする」です。いろいろな仕事をしていますが、ここにつながっていると思います。

広: 経営のサポートとなると、一層重責が伴い、怖いような気もします。

塚: 例えば、「お金を借りた方がいいですよ」とアドバイスをしたとして、経営者がお金を借りたとして、それが業績アップにつながらなくても、次の手を打ったらいいんです。融資を受けない方がよかったかなんて誰にも分かりません。みんな失敗を恐れるけれど、失敗じゃないんです。そこでやめたら失敗だけど、その先を続けたら成功になる。一時的にマイナスになっても、最終的に売上が伸びればお客様は満足しますよね。それまでに、誠実に対応していることだけでも満足していただける。

私なんて失敗だらけです。失敗からしか学んでいません。建設業の許可申請を出した後で、お客さんに(許可を取りたい)業種はこれだけじゃなかったはずと言われて大慌て、なんてこともありました。お客さんの勘違いなのか、スタッフか私のミスなのか、誰にも分かりません。その時は冷や汗をかきますが、最終的になんとかかすればいいんです。

スタッフには、「トラブルになったら最初に私の首を差し出して」って伝えてあります(笑)。お客様が怒っているのは、自分を大事にしてもらっていないという悲しみから来る部分も多いので、大ごとにして、最初から事務所のトップが対応する方が解決も早いんです。

広: 塚本会員は、福岡県行政書士会のホームページの掲示板(※会員用ページ内)にも交流会のお誘いなどの書き込みをしてくださっていますね。あれはどういった意図ですか？

塚: せっかくホームページがあるんだから、もっとみんなに見てもらいたいと思って。掲示板にこまめに情報が上がると、みんな見たくなると思うんです。

広: 広報部としてはありがたい限りです。

今後もよろしくお願ひします。本日は、ありがとうございました。



～行政書士プロフィール～

塚本 ゆかり(つかもと ゆかり)

登録年月日:平成 10 年7月 1 日

事務所所在地:福岡市博多区博多駅前 3-25-24 八百治ビル 2F

この記事は令和 7 年 4 月 1 日の情報です